

ケータイ・パソコンを活用しよう

学習活用のためのヒント集

2012年4月
全学教育機構

目次

興味のあるところから読んでください

○学習にコンピュータを利用する ために		テレビ／パソコンは要らない？ 最先端への入り口	43 45
わたしのプロフィール	3		
アカウント（利用者 ID）とは	4	○困ったときは	
利用者 ID の管理	6	みんなの窓口	46
コンピュータ端末室の特徴	8	よくある質問 / 相談	48
キャンパス内ネットワーク接続	10	ヘルプの心得	50
有線でのキャンパス ネットワーク接続	12	教室番号クイズ	52
無線でのキャンパス ネットワーク接続	13		
ネットワーク接続での セキュリティ管理	14		
Web メールの利用 （ACSU へのアクセス）	15		
Web メールの利用（利用の心得）	16		
ケータイ vs. パソコン	19		
○学習に役立てる			
20 年間の進展	21		
ブラウザさえあればの時代	24		
ブラウザいろいろ	26		
検索とうまく付き合う	27		
コピペは便利？	29		
時間を管理する	31		
授業の選択に使う	33		
e-Learning の利用	35		
自習教材の活用	37		
TOEIC 英語の学習	39		
95%の機能は使わない	41		

わたしのプロフィール

コンピュータ利用に関係した情報をメモしておきましょう

() 内には適当な語句を入れ, { } 内からは該当するものを選択してください。

わたしの学籍番号は () です。

わたしの利用者 ID は () です。

わたしの学部は () で, 学科 (課程・系) は () です。

以下はパソコンを持っている人に関して

わたしのパソコンの OS は {Windows, MacOS, その他} です。

[Windows の場合] Windows のバージョンは {Windows7, Vista, XP, 2000, Me, 98, その他} です。

[MacOS の場合] MacOS のバージョンは {Lion(10.7), now Leopard(10.6), Leopard(10.5), Tiger(10.4), Panther(10.3), その他} です。

わたしのパソコンは無線 LAN 接続機能を内蔵しています {はい, いいえ}。

わたしのパソコンには無線 LAN 機能をオン / オフするスイッチがついています {はい, いいえ}。

アカウント（利用者 ID）とは

コンピュータやネットワークの利用には利用者 ID が必要です

信州大学の情報環境（ネットワーク、端末室のコンピュータ、各種情報サービスなど）を利用する際には、それらの機器やサービスを使おうとするごとに、あなたが利用する資格をもつことを伝えなくてはなりません。その手続きのことを認証といいます。信州大学内における認証手続きでは、学生証のみを特定の機器に通すだけで済む場合もありますが、そのほとんどでは、利用者 ID とパスワードの組合せを用いています。

利用者 ID には、アカウント名、ID、UID など歴史的な理由のあるいくつかの呼び名があります。このためみなさんの目にする文書の中では別名称が使われていることもあります。

信州大学では機器／システムの拡充という過渡期にあり、それぞれで認証を得る必要のある場合も少なくありません。それによる不便をみなさんにかけているということを了承願います。

全学で公式に行われている以下の情報サービスを利用するには、2010年4月から、学籍番号を利用者 ID と

して使うようになりました（みなさんの先輩とは違うルールなので注意！）。一部アクセス先によっては、利用者 ID の大文字／小文字を区別することがありますので、注意してください。以下のサービス利用には、利用者 ID とパスワードとが必要です。

- * 個人パソコンの学内 LAN への接続 (ACSU)
- * キャンパス情報システム（履修登録、成績確認など）
- * 端末室からのパソコン使用
- * 全学 e-Learning (eALPS)
- * Web メール (DEEPMail)
- * ALC NetAcademy (TOEIC 英語学習)

問題：

学内サービス画面のほとんどで、個人で Windows 利用開始のような利用者一覧表示からの選択ログインにはなっていない。なぜ、そうになっているのだろうか？

1 学部や研究室ごとのサービスを除く

以下では、これらの ID について説明します。

利用者 ID

多くのサービス利用には（総合情報センター発行の）利用者 ID を用います。この利用者 ID は学籍番号を小文字にしたものです。サービスによっては大文字の場合もあります。

例：学籍番号 11G1234X のとき利用者 ID は 11g1234 x になる。

メールアドレス

入学と同時にみなさんには総合情報センター発行のメールアドレスが使えるようになっています。メールアドレスは、総合情報センターの利用者 ID に続けて、@ 文字をはさみ、ホスト名に信州大学を示す文字列 shinshu-u.ac.jp がつきます。先の例の場合、メールアドレスは 11g1234x@shinshu-u.ac.jp です。

携帯電話からの利用

キャンパス情報システムおよび Web メールは携帯電話のもつインターネット接続機能でも利用できます。Web メールは ACSU 経由で利用します。

パスワードの入力

ブラウザやメールソフトなどのアプリケーションでパスワードを入力する際には、利用者 ID と同様にかかわらず半角で入力します。またパスワードは大文字 / 小文字を区別します。大文字と小文字の使い分けは Shift キーを押しながら英字等のキーを押します。なお大文字固定キー (CAPS LOCK キー) を使うと、大文字のみの入力ができます。Shift キーを押しながら CAPS LOCK キーを押すとロックできるキーボードが多いようです。このキーの状態表示のためにランプの点灯するキーボードもあります。

ログイン方法については、別項：「Web メール」のところで詳しく説明してあります。

2 インターネットの閲覧に用いるアプリケーションのことで、別項「いろいろなブラウザ」も参考にしてください。

前頁問題への答え：
利用者が多すぎる（1万人超！）
ので、選択表示は無理なのです。

利用者 ID の管理

コンピュータやネットワークの利用には利用者 ID が必要です

利用者 ID は学生証同様に、あなたがあなた本人であることを証明する場面で用いられます。学生証を使うときは、学生証にある写真を通じてあなたがあなた本人であることを、いろいろな手続きの窓口で確認したり、試験の際に受験者があなた本人であることの確認をしたりします。中には成績証明書の発行機のように、学生証カードに記録された情報を確認に使うものもあります。こうした確認処理を認証と呼ぶとすでに説明しました（別項：「アカウントとは」を参照）。

信州大学では残念ながら、こうしたカード自体の認証をできる装置の設置場所自体が少なく、また、自宅などのインターネット経由ではそうした認証装置は使えません。そこで活躍するのが、あなた本人しか知らないはずのパスワードです。

初期パスワード

パスワード認証を必要とする場面において、ただちに利用できるよう、初期パスワードが設定されています。そのパスワードを利用者 ID とともに印刷

されたものが入学後すぐに全員に配られます。大事に管理してください。

パスワードの変更

利用者 ID のパスワードは ACSU にログインすれば変更できるようになっています。ACSU ログイン後の左側メニューにある「パスワード変更」の項目を選択してください。変更後にパスワードがわかるのは本当にあなただけとなり、管理側の人にもわかりません。このため、変更後のパスワードは教えてあげることができませんが、万一の紛失の際に、届出により初期パスワードを使えるよう再設定することで、信州大学では対応しています。

なお、以下のシングルサインオンが有効な利用者 ID では、パスワードはすべて同時に変更となります。

問題 1：パスワードはなるべく変更しないほうがよい。

問題 2：パスワードは全角文字で入れてもよい。

問題 3：パスワードがわからなくなったなら、友達に代理で窓口へ尋ねに依頼してもらうことができる。

シングルサインオン

すでにアカウントの項目で述べたように、みなさんは多くの場面で同じ利用者IDの入力を必要とするようになっていきます。でも、同じものを何度も入れるなんてどうにかならないのかしら、と思うのは自然でしょう。そのことを可能にしているのがシングルサインオンと呼ばれるシステムです。「一回だけサインしておけば」という意味の英語です。このシングルサインオンにより何が使えるようになっているかは、ACSUにログイン後の画面上で確認してください。

パスワードがわからなくなったら

パスワードの控えを忘れた、パスワードを変更したのだけれど何に変更したのかわからなくなったなど、パスワードを失念してしまうことはよくあります。初期パスワードを知りたいときや、変更したパスワードを再初期化してほしいときなど、学生証持参の上、共通教育窓口にお問い合わせください。

前頁問題の答え

問題1：パスワードは随時適当な間隔で変更し、他人に使われることのないよう、よく管理してください。

問題2：半角文字でないといけません。

問題3：本人でないといけません。

コンピュータ端末室の特徴

端末室の特徴を簡単に説明します

共通教育の端末室はすべてシンクライアントと呼ばれる、キーボード、画面、そしてネットワーク接続以外の機能をもたない端末になっています。みなさんは、この端末にログインすると、Windows のサービスや Linux のサービスを選択できるようになっています。これらのサービスはみなさん個人所有のパソコンを学内ネットワークへ接続した場合も同様です。この設備により、大学としてみなさんにどんなサービスを提供したいのか考え方を説明します。

学習端末の基本機能

- * 大学全体で共通利用できるブラウザ Firefox の提供
- * 大学全体で共通利用できるメールソフト（メーラー）Thunderbird の提供
- * 大学全体で共通利用できるオフィススイート MS Office の提供
- * USB フラッシュメモリへのファイル読み書き
- * コンピュータの基本を学習できる UNIX 環境の提供

- * キャンパス内のどの学生用プリンタへも印刷できる印刷サービスの提供

以上、現代的アプリケーションを利用できる汎用性と同時に 10 年後にも廃れない知識を扱う授業のサポートを目指して整備しています。

主なアプリケーション

マイクロソフトオフィス（MS Office）が利用できます。また受講授業や学部・学科等によってはアドビシステムズのデザインスイート（画像処理 Photoshop, 作図 Illustrator, ウェブページ編集 Dreamweaver, DTP 編集 InDesign など）が利用できます。

（答えは次頁から探してください）

問題 1：大学で作成したファイルは自分のパソコンでは編集できない。

問題 2：ファイルは USB フラッシュメモリに保存できる。

問題 3：デスクトップ上に作成したファイルは来週も利用できる。

端末は「パソコン」ではない

大学で提供する教育用端末は、学生のみなさんが授業等で利用する際にも同じ利用環境になっているように管理されており、端末といいます。このため、みなさん一人一人にとって「やりたいことが簡単にできる」パソコンにはなり得ません。

教育用端末で提供している機能は、一見 Windows に見えたとしても、ブラウザおよびランチャー（アプリケーション起動メニュー）くらいしかないと割り切って利用いただければと思います。

シンクライアントという選択

1993年当時、現在のインターネット利用の中心にある WWW を実体化させるきっかけを作ったブラウザ Mosaic の開発者であるマーク・アンドリーセンは「OS とはバグのあるブラウザ用 API に過ぎない。これからはブラウザを通じたデスクトップ OS の時代になる」とみなさんの多くが生まれた頃に述べていました。そのことを事実として活かした環境が「シン(thin) = 中身のない」、「クライアント = 端末」なのです。みなさんがそれぞれ保存したデータは、この大学サービスに端末室または各自のパソコンから

接続すれば利用できます。持ち歩くには USB フラッシュメモリに保存してください。

大学で編集していたファイルが、アパートに戻つたらない、どうしよう？となるよりは、始めからインターネット上にファイル保存できるサービスを使ったほうが便利かも知れません。接続の利便性を考えると、大学以外のサービス上（たとえば Google Docs の利用など）によりブラウザさえあれば利用できる環境に依存したほうが便利かも知れないのです。MS Office が必須だと思って思っちゃる方々は、社会状況の変化を理解していないのです（別項「20年間の進展」参照）。

利用マニュアルについて

教育用端末の使用法は、本手引きにあります。とくに Windows 利用内には、

- * USB フラッシュメモリ以外の USB 接続はほとんど不能
 - * デスクトップ上に置いたファイルはログオフ後消去される
- の2点にとくに注意してください。

キャンパス内ネットワーク接続

あなたのパソコンを大学のネットワークに接続できます

キャンパス内でのネットワーク利用には

* 端末室にある端末を通じて利用する

* ノート型パソコンなどを ACSU に接続する

の2つの方法があります。ここではあなたが大学に持ってきているノート型パソコンを ACSU に接続する方法を簡単に説明します。

ACSU とは

ACSU (<https://acsu.shinshu-u.ac.jp/>)とは信州大学のネットワークを管理する総合情報センターが提供する情報システムであり、大学のネットワークの状況や利用できるサービスを案内するポータルサイトとしての役割と、キャンパス内でコンピュータをネットワークに接続する入口(ゲートウェイ)としての役割があります。

ネットワーク状況の案内では、その停止予定やトラブル報告などの重要な情報が提供されていますので週に一度くらいは見ておきましょう。また Web メールや eALPS の入口としても機能しています。携帯電話で Web メール

を見る際には必ず接続しなければならない入口サイトです。Web メールについてはあとで説明があります。

ゲートウェイの役割は、あなたがキャンパス内のネットワークに接続する資格があるかどうか認証することです。あなたのコンピュータでインターネットを利用する際に、まずは ACSU にアクセスし、利用者 ID とパスワードを用いて認証を受けます。そうしないとインターネット(学内 LAN を含む)に出て行くことができません。

ACSU についての詳細は総合情報センターのサイトを参照してください。

<http://www.center.shinshu-u.ac.jp/>

(答えは次頁から探してください)

問題1: 教室によっては LAN ケーブルをつないでインターネット接続できる。

問題2: 学内では個人がインターネットプロバイダと契約しなくてもインターネット接続利用できる。

有線接続できる教室

一部の教室には情報コンセント (LAN ケーブルを用いて接続できる端子) が各机に用意されています。どの教室にあるかは履修案内を参照してください。授業に利用していない時間帯などに利用できます。

無線接続のできる場所

大学生協 (あづみホールおよび旭会館)、全学教育機構建物内のほとんどの教室、松本合同図書館およびこれらの施設の周辺 (無線の届く範囲) です。

学内 LAN の利用規定など

学内 LAN の使用については総合情報センターによる『ネットワーク利用ガイドライン』(PDF ファイル) に従ってください。

2010年4月現在、信州大学ではファイル交換ソフト (Winny など) は使用禁止になっています。詳しくは前述の総合情報センターのサイトを参照してください。

一般的な技術的注意

* パソコンによっては無線 LAN の ON/OFF スイッチがついています。このスイッチが OFF だと無線接続できません。

- * ネットワーク情報のパソコン側の設定は有線・無線を問わず自動設定 (DHCP で IP アドレスを自動取得) にしてください。
- * 利用者 ID のパスワードを忘れるなど失念した場合には共通教育窓口で学生証を持参の上、相談してください。

有線でのキャンパスネットワーク接続

あなたのパソコンを大学のネットワークに接続できます

有線での接続方法

ここでは 42 番講義室, 61 番講義室などで有線で学内 LAN に接続する方法を説明します。

1. 各自でイーサネット・ケーブルと呼ばれるケーブルを用意します (大学生協や家電店で販売されています)
2. 各機の LAN のジャック (情報コンセント) とパソコンをイーサネット・ケーブルで接続します。
3. DHCP 利用になっていることを確認します。多くのパソコンでは「ネットワーク設定」が自動で行われる (DHCP によって IP アドレスを自動取得する) よう初期設定がされていますが、そうならない場合には、自動で行うように設定しなおしてください。使用しているオペレーティング・システム (OS) によってはこれらの設定を変更した場合にパソコンを再起動する必要があります。また有線で接続する場合には、無線 LAN の機能を OFF にしておくほうがトラブルは少ないでしょう。

4. ブラウザを開き ACSU にアクセスして認証を行います。認証されれば学内外のサイトにアクセスできるようになります。ネットワークの使用を終了する場合には必ず ACSU からログアウトするようにしましょう。

なお、この情報コンセント経由の場合、ACSU に接続しなくてもインターネットにつながるようになっている教室のほうが多くあります。

無線でのキャンパスネットワーク接続

あなたのパソコンを大学のネットワークに接続できます

無線 LAN での接続方法

1. まず生協食堂 (あづみホール) や授業で使用していない教室など無線 LAN の電波の届くところへ移動します。
2. 無線 LAN が使用できるようになっているかどうか確認します。機種によっては無線 LAN を ON/OFF できるスイッチがついているものもあります。また無線 LAN 機能のついていない機種でも PC カード型の無線 LAN アダプタや USB の無線 LAN アダプタを使用することで無線 LAN を使用することができます。
3. 使用できる無線 LAN の状況を確認します。例えば、Windows Vista または Windows7 を使用している場合には、タスクトレイ (標準設定では日本語入力モードや時刻などが表示されているデスクトップ下部のパネル) のワイヤレスネットワークアイコンを左クリック、Windows XP の場合はタスクトレイの無線 LAN ユーティリティのアイコンを右クリックします。Mac OS X の場合は、デスクトップ上部の Air Mac のアイコンを選択します。GNU/Linux の場合には、KDE や GNOME 付属のユーティリティを使うか、iwlist などのコマンドラインツールを使用します (詳しい使い方はネットで検索しましょう)。
4. 無線 LAN ネットワークを選択し、接続します。接続する無線 LAN ネットワークの名前 (ESSID) を選ぶ必要があります。ASAHI-PUBLIC や SEIKYOU など、現在接続しようという場所に近接した施設名にちなんだ名称がたいていは表示されます。また、ネットワーク設定については有線の場合と同様に「自動」(DHCP で IP アドレスを取得する) にしておきます。
5. 無線 LAN ネットワークに接続できたら、ブラウザを開き ACSU にアクセスして認証を行います。認証できれば学内外のサイトにアクセスできるようになります。ネットワークの使用を終了する場合には必ず ACSU からログアウトするようにしましょう。

ネットワーク接続でのセキュリティ管理

パソコンをネットワークに接続する際の注意

パスワードの管理

すでに利用者 ID の説明で触れました。復習しておきましょう。

接続の安全性

インターネットを流れる情報には暗号化された情報とされていない情報とがあります。パスワードなどの短い情報を扱う際に多く使われている暗号化方法が SSL です。ブラウザ利用でアクセスしている場合、鍵アイコン（図はブラウザ Safari5 の例）が現れるので、SSL が有効になっていることがわかります。



大学で提供するキャンパス内無線ネットワークでは「セキュリティで保護されていない」ネットワークと表示されます。これはネットワーク上で送受信される情報は暗号化されていないという意味です。暗号化されていない情報は（特に無線の場合）容易に盗聴可能になります。利用者 ID やパスワード、個人情報、その他盗聴されては困る情報をネット上でやりとりする場合

には、必ず SSL や SSH など暗号化されている通信方式（通信プロトコル）を使用するようにしましょう。ちなみに ACSU で認証する際には、SSL での接続となります。また SSL など通信内容を暗号化したとしても接続先のアドレスなどは暗号化されません。

セキュリティの管理

最近のコンピュータウイルスの多くは「ボット」と呼ばれるタイプが多くなっています。これらの特徴は、パソコン所有者自身への被害（システム異常など）は起こさずに、迷惑メールの発信基地などに知らぬ間に変えることで、世界中に迷惑をかける存在へと、あなたのパソコンを作り変えるものです。このためウイルス感染していても気がつきません。最低でも毎週欠かさず、最新のチェックソフトであなたのパソコンの状態をチェックしてください。

Webメールの利用（ACSU へのアクセス）

ケータイでも使えるメール

ACSU へのアクセス

ACSU へはインターネットに接続できれば、パソコンでも携帯電話でもアクセスすることができます。10 番・32 番講義室に設置されている端末を使う他にも、大学の情報コンセント・無線 LAN が設置されている食堂または講義室等へ個人で所有するパソコンを持ち込んで利用することもできます。自宅等のインターネット接続されたパソコンからも利用できます。

アクセス方法は、パソコン等でインターネットに接続し、ブラウザ (Firefox, Internet Explorer, Safari など) のアドレス欄へ

`https://acsu.shinshu-u.ac.jp/`

を入力してください。現在ではインターネット上のアクセス先を何でも Google や Yahoo! で検索する人も多いと思いますが、このような学内向けサービスは必ずしも検索結果上位に現れないので、みなさん各自の利用環境におけるブラウザのブックマークに登録しておくといいでしょう。

ACSU へのログイン

ログイン欄にあなたの利用者 ID、パスワード欄にあなたのパスワード（最初のパスワードは学生氏名等確認／アカウント通知書に印刷されています。随時 ACSU を通じて変更できます。）を入力したらログインボタンをクリックするか、または RETURN (ENTER) キーを押してください。

○○ ○○さんようこそ

あなたの名前が表示されたらログイン成功です。パスワードや利用者 ID が間違っていたりすると、

LDAP サーバへのログインに失敗しました

というエラーメッセージが表示されません。

Webメールの利用 (利用の心得)

ケータイでも使えるメール

始めにいくつか問題をあげておきます。答えは以下の解説から探してみてください。

問題1: Webメールは決まったパソコンからでないと利用できない。

問題2: メールは差出人が誰かは書かなくても、誰から来たかわかる。

問題3: メールに件名を書かなくてもよい。

問題4: 携帯電話でふだん使うショートメール(SMS)の略号Mはメールのことである。

メール利用

DEEP Mail項目をクリックすると、信州大学の提供するウェブメールサービスが使えます。あなた宛にメールが何通きているかなどの情報が表示されます。

ウェブメールというサービスは、すでにYahoo!メールやGmailを使っている人にはおなじみでしょう。このウェブメールサービスにより、通常のメールサービスでできることはほとんどできますので、是非、ふだんから活用してみてください。パソコンに詳し

い人は、すべてのメールファイルをパソコン上に取り込めるメールソフトを使ったほうが便利かも知れません。

メールの基本要素

メールは手紙で使われてきた習慣を踏襲しています。

件名 (Subject) :

メールで伝える用件を具体的に表しましょう。

悪い例:

* 教えてください (何を指しているかわからない),

* 自分の氏名を書く (出会いサイトの勧誘メールの多くがこのタイプだったりします。「あなた」の売り込みが用件ではないはずです),

など。

送信者名:

メールシステムが自動でアドレスはつけますが、それが誰だかたいいはわかりません。メール本文中で、相手にあなたが誰か伝わるように名乗りましょう。

受信者名 (宛先):

メールアドレスを誤記すると間違った相手に届いてしまいます。メール本文

中の先頭で誰にあてているか、はっきりさせておきましょう。

ケータイメールのSMS（件名なし、誰からきたか住所録で自動表示）という特殊な習慣にしたがったメールを出してしまうと、たいてい失礼なことになります。ぜひとも、ふだんから「正しい」メールの書き方を練習して身につけてください。

件名の考え方

どんな件名をつけると適切でしょうか。みなさんはYahoo! やGoogleの検索をよく使っている人が多いでしょう。そのときに、検索キーワードが不適切だと、不要な結果ばかりたくさん出てくることを、おそらく経験しているはずです。

その経験をメールに適用してみてください。それは、たとえば次のように考えてみるのです。

- * あなたのメールの受け取り手である先生は何百通と学生からのメールを受け取っている。
- * その先生はメールの件名により、たくさんメールから（目で）検索して、特定のメールを選び出している。
- * おそらく学生の一人一人までは覚えきれないと思えるので、学生氏

学内でコンピュータを利用するために
名や学籍番号で検索することはない。

このとき適切な件名はどんなものでしょうか。あなたのメール（検索結果における記事）がはっきりと見つかるように考えてみてください。

ウェブメールで利用できる主な機能

メールの転送：Gmailなどのアドレスを指定して大学のアドレス宛のメールを転送できます。

住所録の作成：あなたがメールを出したい相手のメールアドレスに別名を設定できます。

自動振り分け：あなたの友人からのメールと授業関係のメールをそれぞれ別のフォルダに振り分けたりすることができます。

件名に自分の名前を書く間違い

情報環境の移り変わりは速いものです。みなさんの先生方の中には、10年以上前の情報環境の常識の中で仕事をされている方もいらっしゃいます（専門能力が図抜けているのでそれでも許されるのですが）。そうした方の中には、たとえば「件名には自分の名前を書く」という社会的常識に反する方法を指示される方もいらっしゃいます。そうした先生方とのつきあい方を、他の先生方とのつきあい方には持ち込

まないようにしましょう。あなたの信用を失うことにつながるかも知れません。

前頁問題 1 の答え：Web メールはどんなパソコンからでもネットワーク接続さえあれば、使えます。それどころかケータイからでも使えます。

問題 2 の答え：差出人が誰か書かれていなければ、誰からきたのかわかりません。携帯メールだって住所録に未登録の人はわからないはずです。嘘の差出人名を書くことはできますが...

問題 3 の答え：件名を必ず（内容の適切な要約となるよう）書いてください。最近では迷惑メールも多いため、件名なしのメールを自動でゴミ箱に捨てる設定をしている人も珍しくありません。また、件名欄に自分の名前を書くのもよろしいでしょう。出会い系勧誘メールと間違われます。

問題 4 の 答 え：SMS は Short Messaging Service の略です。文字 M はメッセージのことでした。ほとんどの大学生が Facebook ユーザであるアメリカでは「今どきの若者はメールを使わなくなった」と言われているそうです。日本でいうショートメール、つまりメッセージングサービスはしょっちゅう使っているらしいのですが。

ケータイ vs. パソコン

パソコンなしでも大丈夫？

携帯電話(ケータイ)でもインターネット接続は可能なため、パソコンを要しない状況は格段に増えました。ここでは信州大学のサービスを中心に、それを整理しておきましょう。ちなみに各マークは ◎：問題なし、△：使う人次第、×：不可またはほとんど不可、です。

パソコンを要することを行うには、端末室などを活用してください。

◎ 学務関係手続き

履修登録などキャンパス情報システムを通じて行う手続き、あるいは提供されるサービスについては、ケータイで問題ありません。その他資料の「キャンパス情報システム」を参照してください。

△ Web メール

ケータイで ACSU にアクセスすれば利用できるのですが、技術的には◎なのですが。

多くの方が、ケータイ専用メール(SMS)の習慣をふつうのメールだと思っているようですが、SMSの習慣でメールを出してしまうと、そ

のメールを受け取った先生方にとっては、礼儀知らずの失礼なメールでしかありません。

Webメールの利用の項に書いておいた基本マナーを使い分けられる人にとっては、問題なく◎です。

× e-Learning

eALPSへアクセスすること自体はケータイでも可能なのですが、そこで提供される教材の多くはケータイに対応していません。その意味で×です。

その他の携帯機器

現在では携帯電話（ケータイ）とその他の通信機器とを使い分けるポイントは

- * 無線 LAN アクセスポイントを要するか
- * フルブラウザ（パソコンと同様の解像度を要するブラウザ）を利用できるか

でしょう。ネットワークに高速接続できる携帯機器を使う場合、パソコンとの差は画面の大きさと入力のしやすさだけかも知れません。

このとき、フルブラウザを利用できるケータイの利点はアクセスポイントに関係なくネットワーク利用できることとなります。ただし、ケータイの「つなぎ放題」料金は、フルブラウザ利用時には適用されない契約もあるので、自分がどんな契約を結んでいるのか注意の上、利用してください。

以下にケータイ以外の、無線 LAN 接続可能な携帯機器をいくつかあげておきましょう。いずれも ACSU に接続してフルブラウザの利用ができます。

任天堂 DSi：そのまま接続できます。

ソニー PSP Vita：そのまま接続できます。

アップル iPod touch/iPhone：そのまま接続できます。

20年間の進展

この20年間にコンピュータ利用環境はどう変化したでしょう？

以下では、私たちの生活に影響を与えた、主な出来事を年代順に紹介してあります。一般社会にも影響が現れるには、およそ3から4年かかっているようです。

'91 ティム・バーナーズリーによりリリースされたワールド・ワイド・ウェブ (WWW; ウェブ) の概念に沿った最初のウェブページが公開され、ウェブの世界が始まりました。

'93 ウェブ (Web) を容易に閲覧できるブラウザ Mosaic がマイク・アンドリーセンによりリリースされ、急速に普及しました。この頃、ウェブページは全世界でわずか数百ページ程度でした。同時にこのブラウザが無償配布されたことも驚きでした。現在では無償配布は珍しくなくなりました。

'94 amazon.com が登場。インターネットの特性を活かした商業利用として大きく成長していきます。

'95 阪神淡路大震災起こる。この震災への支援活動を通じ

て、「社会がインターネットを相互扶助のためのインフラとして発見した」といわれました。Windows95の登場。Macから10年遅れたとはいえ、マウスでクリック操作中心のシステムの普及が始まり、インターネット接続も当然のことになっていきました。代表的なインターネットポータルの一つ、Yahoo! もこの年に登場です。また、携帯電話普及率が10%を超えました。

'98 Google 誕生。インターネットを検索してもクズばかりの時代から、インターネット上にある情報であれば、検索すれば見つかる時代へと変化が始まりました。アップルがiMac (国内では通称「おにぎりマック」などと呼ばれています) を発表。この機種の登場以降、一般利用者向け普及機は10万円+ α ぐらいの価格で提供されるようになりました。

'99 携帯電話向けインターネットサービスであるドコモのi-mode 誕生。携帯電話の普及率はこの年に60%に達します。なお、ショートメールサービスはこの1年前に登場しています。携帯電話の普及期において、一時的には公共の場での携帯

電話による通話が社会問題化しましたが、現在では、コミュニケーションの主体はショートメールに移りました。また商用 ADSL サービスが開始しました。この ADSL の普及により、インターネットへの高速接続（ブロードバンド接続）が、一般家庭にとっても手の届くものとなっていったのです。

'01 ウィキペディアが誕生。オンライン参加者の協力により、量的にはこれまで出版されたどの百科事典をもしのぐものとなりました。iPod が発表されたのもこの年です。音楽やビデオは手元に持ち歩くものとなって行きました。そして、日本のレコード会社が「レコード（CD）が売れなくなって困った」と嘆いている間に、アップルが iPod 向けに提供を始めた iTunes Music Store の楽曲販売は、レコード販売を逆転するまでに成長していきました。国内では Yahoo! BB が登場。この普及が、日本を世界の中でも最も安価に高速インターネット接続ができる国へと変えたのです。ウェブログ（ブログ）もこの年に登場しています。

'04 SNS サービス国内最大手の mixi（ミクシィ）が登場しています。

'05 YouTube が登場。投稿ビデオの共有に始まり、現代

ではインターネットに欠かせないサービスの一つになりました。Google map が発表。ウェブ利用のアプリケーションにおいて Ajax と呼ばれる仕組みを使うことにより、今まで双方向性が弱いといわれていたウェブサービスの進化が始まりました。

'07 アップルが携帯電話機能もついたタッチ操作可能な iPod である iPhone を発表しました。国内でも翌年に発売。発売時よりも、その翌年である 2009 年になって注目されています。

'09 Google がブラウザだけの OS の開発を発表し、世の中はいよいよパソコン不要の時代へと流れを加速します。また Google が昨年発表したブラウザ Chrome の普及が始まり、ブラウザは先述の Ajax の実行が速いことが注目点になりました。この動きに大きく出遅れたブラウザ IE のシェアはついに 6 割ぎりぎりまで落ち込んでいます。

'10 パソコン不要の流れを加速するものとして、アップルはタッチ操作のインターネット利用端末である iPad を 5 月に発売。この影響で、iPad と iPhone の中間サイズ（手帳サイズ）の携帯電話機能をもつ端末も登場しています。この年に発売された MacBook Air は、薄い、軽い、ハー

ドディスクからメモリディスクになって高速起動、光学ドライブなしの製品でした。これらの特徴は、翌年にウルトラブックとしてメーカー各社が発表して行く製品の先駆けとなりました。

’11 携帯電話会社のソフトバンクだけから販売されていた iPhone が、au から販売開始されました。携帯電話の新規販売分ではスマートフォンが従来型（フィーチャーフォン）を上回ります。各種サービスの好調なアップル社のアメリカでの株式時価総額は Google とマイクロソフトを合わせたよりも大きくなりました。マイクロソフト Windows の標準ブラウザである IE は、IE9 への移行が促されるようになりました。iPhone の新モデルでは新たに Siri と呼ばれる音声補助サービスが搭載され注目されました。

今後 みなさんが入学以後、
こうした流れはどう
なっていくのでしょうか？

ブラウザさえあればの時代

あなたのブラウザを持ち歩くこともできます

信州大学キャンパス内のように、インターネットへの常時接続に不自由しない環境では、ブラウザの環境さえ一定であればアプリケーションの入ったパソコンを持ち歩く必要はなくなりました。

問題1：パソコンにMS Officeがインストールされていないと文章は作れない。

問題2：多くの企業ではMS Officeの最新版は使っていない。

ブラウザ環境

大学の端末室（Mac, Windows）ならブラウザにFirefoxが用意されています。あなたのパソコンにもFirefoxがインストールされていれば、以下に例としてあげたインターネット上で利用できるアプリケーションを同じ環境のもとで利用できます。あるいは、USBメモリにインストールできるポータブルFirefoxなどのブラウザを持ち歩き、端末にインストールしてあるブラウザは使わない方法もかえって便利かもしれません。

このような環境作りに興味のある人はピアサポート室（「困ったときは」の中に案内があります）を訪ねてください。

問題：ブラウザIEのシェアはどれくらいでしょう？（答えは次項「ブラウザいろいろ」から探してください）

ネットアプリ

インターネット上で利用提供されているさまざまなアプリケーション（ネットアプリ）も実用水準にあるものが多く登場しています。たとえばGoogleがGmailアカウントを取得している利用者に提供しているGoogle Appsに含まれるワープロGoogle Docsを使っても、みなさんが1年次に取り組むレポートのほとんどにとっては十分でしょう。

逆に先生方にとっては、本当にみなさんに高価なアプリケーションを購入させる必要があるのか、頭を悩ませる状況になってしまいました。

さらに、このようなネットアプリではインターネットを通じたファイルの

共有が容易になってます。このため、サークルの名簿を Google Calc（表計算）でサークルメンバー同士で共有する、のようなこともよく見られる風景となってきました。ネットアプリの強みはいっしょのグループでみんながどこからでも同じアプリを使えることにもあります。

自由な OS

Windows Vista という 2007 年初めに出た、Microsoft 社の OS の新版はさして普及しない内に、2009 年中に新版 Windows 7 にとって代わりました。「新版ならいいもの」と思って飛びついたユーザにはバカにされたような気もする状況です。とくに XP OK, Vista KO, 7 OK というアプリケーションがいくつも確認されているなんて信じられますか？

現在では USB フラッシュメモリ起動の OS も容易に使えるようになっています。特定メーカーに振り回されたくないという人は、端末室でも「Linux」項目を選択すれば使えますが、自分用には最新版を使いたいでしょう。ピアサポート室に訪ねてみてください。そうした一つ Debian Live の利用補助もしています。

前頁問題 1 の答え：不要です。無償利用できる OpenOffice.org でも十分ですが、インターネットに常時接続できる環境なら、特定のサイト接続すれば使える Google Docs でも十分なことができます。

前頁問題 2 の答え：過半数の企業ではいまだに MS Office2003 までを使っているそうです。中には Office2003 から 2007 への UI（使い勝手）の変更に伴う従業員再教育コストに耐えかねて、MS Office の利用を取りやめたところもあります。県全体で無償利用できる OpenOffice.org に切り替えた山形県は有名な例です。

ブラウザいろいろ

IEのシェア（占有率）を知ってますか？

パソコンのOSでは90%以上のシェアを誇るマイクロソフト社が2001年に発表したWindowsXP、そのブラウザIE6 (Internet Explorer 6)、メーラーOutlook5の組み合わせは、社会的にインターネット利用が急拡大する中、5年の長きに渡り、新版の提供が停止しました。この影響として、主に以下の出来事に現れています。

- * バグのあるブラウザとしてWebページ制作の新潮流の阻害
- * セキュリティ対策の対応遅れ
- * 迷惑メールのフィルタリングができないためのメール利用不全

いずれも他のブラウザ（たとえばFirefox）を利用したり、他のメーラー（たとえばThunderbird）を使えば、マイクロソフト社のサボタージュともいえる製品提供にもとづく被害を避けられるものでした。

こうした事実を大きな動因としたことと、ブラウザの機能を拡張する便利なプラグインが多彩、ということも相まって、Firefoxのシェアの急拡大が起きました。

その後、Google社によるAjaxと呼ばれるウェブサービスの利用に便利ということから、Google社の提供するブラウザChromeが2009年の登場以来、急速にシェアを拡大して現在にいたっています。具体的なシェアの数字は調査会社によっても異なりますが、StatCounterによれば2012年3月1日現在

- * IE 約54%
- * Firefox 約17%
- * Chrome 約17%
- * Safari 約7%

ぐらいです。調査によっては、IEのシェアが50%を切っているものもあるようです。

「バグのあるブラウザ」問題に関しては、現在では、マイクロソフト社自身が「カウントダウンIE6」というサイトを設けて、利用者に新しいブラウザへ切り替えを薦めるようになっています。

検索とうまく付き合う

検索に溺れないように賢く使おう

インターネット検索はとても便利です。ウィキペディアを使えば、たいいていのことは間に合ってしまうそうです。しかし、みなさんは何のために大学にきたのでしょうか？

勉強しなくてもウィキペディアで間に合うのなら、大学などにこないで、みなさんの時間をもっと有効に使うべきです。そうしたインターネット検索と賢く付き合うヒントをいくつかあげましょう。

検索の種類を仕分けよう

辞書や百科事典を引けば解決する疑問と、考えないとわからない疑問を仕分けましょう。辞書を引けばわかるタイプは、できれば授業のその場で解消してください。そうしたほうが授業の話が頭に残りやすくなります。その場で検索ができない授業では「すぐに調べるリスト」をその場で作って、なるべく早く調べて確認してください。「初めて出会うことだとどちらかよくわからない」という人も、以上を習慣にすることで、段々とどちらかわかるようになります。

手書きをしよう

ウィキペディアを含めて、インターネット上の情報源の多くはおよそ1ページに収まるように書かれていることが多いです。その特徴を生かして、みなさんが「使える」と思った検索結果は、是非とも手書きで書写してみてください。その際に次のようなステップを踏むと理解が深まり、記憶の定着もよくなります。

- * 何回か読み返す
- * そのページを見ないで書きとる
- * どうしても詰まったら再度読み返す

注意として、言葉使いや多少の誤字などあっても気にせずに、見ないで書いてみるのが重要です。

基礎体力をつける

自分で考えて解けるようにならないと身に付かない力、高校までの勉強では数学などが代表的なものですが、そうした力をぜひ身につけてください。検索により結果利用にばかり頼る学習法をしていると、結局は勉強効率が下がります。何時間かけても理解に届かないし、あなたが検索で仕入れた知識は、

先生方から見るとつぎはぎだらけであることが一目瞭然にもなります。結局は検索では身に付かない基礎体力に当たることじつくり取り組むことが、あなたの力を高めるための近道になるのです。(以下で引用は藤原博文氏の文章をもとに書き換えています。)

下手な○○○はさぼっている訳ではありません。それどころか、上手な○○○より遥かに努力しているのです。努力しているけれども結果が出ないだけです。

という人にならないよう基本の勉強をしてください。

理解が必要になること

上で引用したような事態にならないためには、

正しい方法そのものを「公式」の形で示すだけではなく、その「公式」を使えば良い理由を理解しなくてはなりません。重要なのは公式ではなく、理由の方なのです。

というのが、情報が爆発的に増える時代に生きるみなさんにとっても適切な態度なのです。検索だけでは納得することが必要になる理由まで届くことはできません。現代の私たちが利用可能になったインターネット検索という強い道具をうまく使うと同時に、みなさん自身でそうした道具に振り回されな

いために理解するための努力の時間を設けてみてください。

最後に

検索の活用はおおいにしてください。ことばの意味を知らずに「理解する」努力をしても時間の浪費です。しかし、検索だけでは成果は得られないことを踏まえて使っていかなければならないのです。

コピペは便利？

シェア（共有）の世界へ

韓国では、自国の電子政府基盤を設計する際に「コンピュータに一度入力されたデータは二度と再入力させない」を基本としたそうです。我が国でも電子政府化を進めようという取り組みが始まって久しいですが、そこで生まれた電子申請システムの多くは、利用度が低く、見直しを迫られています。なぜうまく行かないのか？それは、我が国における手続きシステムの多くがコピー&ペースト（手作業による転記も含む）の繰り返しに毒されているからです。コンピュータの導入によってコピー&ペースト（コピペ）という技が生まれましたが、相変わらず人が手作業で転記（コピペ）を何度も繰り返すという実体が、電子政府化でうまく行っていないところに残っているからです。行政手続きでは縦割りということがよく使われますが、それは、ここで話をする共有（シェ

ア）とは相反する方向なのです。

シェア（共有）するとは

コピペがいくら簡単だとはいえ、何回も繰り返せばそれなりの時間がかかります。またコピペでは、コピー範囲のコントロールを目で追う必要があります。シェアの仕組みは、そもそもコピペ自体の作業もなくして、自動転記してしまおうというものです。コピペでは、コピーしただけ元の情報の複製が増えますが、シェアでは、それが利用されるときに自動で転記されるので、情報の複製のための場所も必要とはしません。

シェア（共有）を使おう

「車輪の再発明はしない」という言い方が、コンピュータ利用の世界であります。冒頭に述べた「データの再入力はしない」に通じることばでもあります。たとえば（AKB48で有名になっていますが）Google+では、情報をシェアするグループ（サークルと呼ぶ）を簡単に作ることができます。勉強のことばかりでなく、課外活動でも使う機会はたいへん多くあると思います。

問題：コピペすることで便利だとあなたの思うことに、どれだけの時間を費やしているか試算してみよう

せっかくのシェアしたい情報でも、それをメールで送りあったら、それはコピーの発想です。1対1ならメールで送るほうが効率よいこともあるでしょう。しかし、関係者みんなが閲覧できれば十分な情報だったら、是非ともシェアを活用してみてください。最近、就職活動の一つで話題になり出している「ソー活（ソーシャルネットワークの活用）」も、それを使いこなすには、シェアが望ましいものはコピーにしない、を心がけてみると、大学生活に限らず、インターネット利用が当たり前になったこれからの社会生活をきつと実りあるものにしてくれるはずです。

情報集めはほどほどに

手軽に使えるインターネット検索と、コピーが容易にできることから、何か調べたいことがあるときに「もっとうまい情報があるのではないか？」と思って、延々と検索を続けてしまうことはありませんか？友人達などと集めた情報をシェアし、意見を交わしてみましよう。必要以上に集めることに時間を費やすよりも、友人達などと集めた情報への意見交換をしたほうが効率が良いのです。コピーにばかり走ると、集めた情報を二度読む機会が少なくなっていたとしたら、それは、たいへんもったいないことです。

* 資料は二度以上読む

* 二つ以上の資料を比較する

を心がけると、情報を調べる効率があがるものです。インターネット検索のおかげで、複数の情報源をあたることはたいへん簡単になっているのですから。

前頁問題の答え：正答はありません。コピーのための選択時間は意外と大きいものです。

時間を管理する

記録することが自己管理の近道

大学に入ってから勉強における高校までとの一番大きな違いは、自分自身で何を勉強するかを選択することを含めて自己管理をしなくてはいけないことでしょう。

参考：レコーディングダイエット

2007年のベストセラーに岡田斗司夫著『いつまでもデブと思うなよ』（新潮新書）があります。ダイエット法のほとんどは続ける内に効き目のなくなるものがほとんどの中で、岡田氏の提案するレコーディングダイエット法はたいへん単純であるにも関わらず、続ければ効果てき面という話題性ももちました。こう切り出すと「どんなすごい方法だろう？」と思うかも知れませんが、その実際は非常に単純です。ひたすら食べたものをその量とともに記録して行くだけなのです。そして、記録した食べ物の一覧を毎日見返します。それだけなのです。この方法はダイエット法なので、毎日、記録した食べ物のカロリーを集計とともに見直すわけですが、レコーディングダイエットのためには、今ではほとんど誰もが常時持ち歩く、携帯電話（スマートフォ

ンならあなた好みのアプリが見つかるでしょう）の利用が好適です。

問題：あなたの携帯電話にはどんな記録用ツールが搭載されているだろうか？

時間管理術あるいは計画術

忙しい現代人にとっては、自分の時間を管理する、あるいは何かを達成のために計画管理をすることは必須です。そのための方法はライフハックの名前などでダイエット法に劣らず数々の方法が提案され、ビジネス書の本棚を賑わせています。

問題：あなたに失敗した「なんとか術」の経験があれば、なぜ失敗したかを分析してみよう。

ライフログ

ログとは記録をとることを意味します。数々の時間管理術の中にはあなたに好適のものが見つかるかも知れませんが、多くは、ライフハックそのものを続けることに疲れてしまうみたいです。そうした中で、ライフログ法とも

学習に役立てる

呼ばれるレコーディング時間管理術は確かな方法の一つです。レコーディングダイエット法から想像できるように、あなたの一日をひたすら記録して行きます。たとえば次のような情報を手当たり次第記録するのです。

- * 12:20---12:35 昼食
- * 12:35---12:50 友人とおしゃべり
- * 14:50---15:10 資料の検索
- * 15:10---16:00 PCでビデオ視聴

などなどです。こうした記録も、携帯電話上の適当なツール（スマートフォンであれば適当なスケジュール管理アプリが豊富にあります）を使って、ひたすら記録し、あとで一日を（あるいは一週間を）見直すのです。レコーディングダイエット法でもそうですが、当面は記録することだけを目標にするので、「なんとか術」にありがちな、目標達成がうまく行かないことの自己嫌悪などによる中途脱落がないために、意外と記録自体はうまく行きます。しかる後に、記録できた時間一覧を見て、あなたにとって必要なことをするための時間を記録の中からひねり出すのです。

前頁問題の答え：正答はありません。ライフログをしてみませんか？

授業の選択に使う

履修登録の補助情報を探す

みなさんが入学後に最初にとまどうことの一つが、たくさんの選択科目から何を選ぶかでしょう。とくに教養科目は前後期合わせて200科目以上の開講があります。シラバスを読むだけでは想像力が働かない、わからないことも多いでしょう。そうしたことの助けに、全学教育機構のホームページなどを利用してみましょう。

信州大学学位授与の方針マップ

信州大学ではみなさんにどういった力をつけてほしいかの基準を5項目15方針立てています。どの方針にかかるときの科目なんだろう、そういった疑問に役立つのがこのマップです。入学時に配布される授業シラバスの中には、みなさんが各授業でどのような力をつけてほしいかの学位授与の方針がいくつか設定されていますので、受講選択の参考にしてください。

問題：学位授与の方針はどこを見れば書かれているか？

履修登録

キャンパス情報システムを通じて、履修登録手続きや成績の確認、授業変更などを確かめることができます。授業の成績確認も、このシステムを通じて行います。

オンラインシラバス

キャンパス情報システムにログインすると、利用できる項目の中に「シラバス」があります。授業題目名や教員名ぐらいでしか検索できないので、シラバスに書かれた授業内容も検索するためには、みなさんが入学時に配布されるDVDにあるシラバスファイル自体の内容を検索したほうが便利かも知れません。

映像化授業カタログ「起縁」

映像化授業カタログとは、文章のシラバスだけからは伝わりにくい授業に関する内容を、先生が直接にビデオなどを通じて語りかけてくれます。科目選択の参考にしてください。この手引き執筆中の現在、選択である教養科目は少なくともすべて揃えるべく準備中です。PREPサイトからもたどれますが、

学習に役立つ

URL は次の通りです。

<http://vc.shinshu-u.ac.jp/>

全学 e-Learning 支援システム eALPS

eALPS 上では、履修登録に関係なく資料公開している授業もいくつもあります。その中には、上記授業カタログよりももっと詳しいビデオ提供してある科目もあります。中にはそうしたことがシラバス上に明記されている科目もありますので、探してみてください。

前頁問題の答え：新入生ハンドブックに書いてあります。また、大学ホームページ上にも掲載してあります。

e-Learning の利用

全学 e-Learning システム eALPS には授業等の教材があります

eALPS とは

信州大学ではインターネット上で学習可能な教材およびその提供システムがいくつか用意されています。そうした教材やシステムを利用して学習することを e-Learning または eラーニングといいます。とくに全学向けの e-Learning システムを eALPS と呼んでいます。

問題：eALPS の使い方がわからなかったら担当の先生に尋ねる

利用方法

ACSU (<https://acsu.shinshu-u.ac.jp/>) にログイン後に eALPS2.0 科目一覧項目を選択してください。

学習方法

eALPS ではあなたが登録済みのコースのみ表示されます。自分で登録できるコースもありますので、詳しくは掲示を見たり、担当の先生に伺ったりしてください。

その他の注意

ACSU にログイン後に eALPS2.0 ヘル

プリンクを参照してください。そこを一読してもわからない状況のときは、e-Learning センター（南棟 2 階）まで訪ねてください。

覚え書き

信州大学の e-Learning はそれなりに歴史をもつために、かえって先生方などが呼ぶときの呼称に混乱させられることがあります。興味のある人のために以下に簡単に注意を書いております。

eALPS, e-ALPS と eALPS2.0

本冊子を含めて「eALPS」、「e-ALPS」と「eALPS2.0」の表記が混在しています。その理由を簡単に説明しておきましょう。信州大学では 2008 年 3 月まで Blackboard というシステムを利用して、全学 e-Learning である e-ALPS を運用してきました。それが、2008 年 4 月より Moodle というシステムを利用した全学 e-Learning に切り替わったのですが、在学生および教職員のみなさんは、切り替えのための両者の併存期間を経験したのです。新入生のみなさんは最初から eALPS2.0

学習に役立つ

しかないで、それらを区別する必要はないのですが、こうした経緯のために両者を区別する表記が残っています。新入生のみなさんにとっては、いずれも同じものを指すと思ってください。

Moodle について

eALPS2.0を運用しているシステム名のことです。先生方によっては、eALPS と呼ばずにこのような呼び方をされる方もいますが、気にしないでください。

eChes について

みなさんが高等教育コンソーシアムを通じて県内他大学提供の授業を受講する場合、eChes と呼ばれるシステムの利用により講義のレポートなどを授受します。この eChes も Moodle で構築されています。

前頁問題の答え：eALPS は先生個人ではなく、信州大学がみなさんに提供しているサービスです。e-Learning センターに助けってもらってください。

自習教材の活用

e-Learning でスキルアップ

み さんの学習を支援する自習教材が用意されています。ここにあげた eALPS 上で学習できる教材については、いずれもみなさん各自で学習利用登録を行い、学習を進めます。

登録方法は全学教育機構の学習支援サイト PREP

<http://zengaku.shinshu-u.ac.jp/prep/>を参照してください。

その他の情報にアクセスするためのインターネット上のアドレス (URL) や最新情報についても、学習支援サイト PREP で確認してください。

問題：自主学習教材の学習は、先生に許可を求める必要がある。

英語の学習

アルク社の TOEIC 教材 Net Academy がいつでも利用できます。詳しくは「TOEIC 英語の学習」を参照してください。eALPS からの利用ではありません。

情報倫理の学習

eALPS 上にネチケット (ネットワーク利用にあたってのエチケット) を含めたインターネットを安心して使うための学習教材が用意されています。

文書作成の学習

論文の書き方は「新入生ハンドブック」でも詳しく解説されています。eALPS および起縁を通じて、コンピュータ利用を生かした文書作成に役立つ知識を多角的に提供しています。

表計算の学習

表計算を知的ツールとして使う第一は、コンピュータでなければ簡単にはこなせない計算目的 (超高性能な電卓といってよいでしょう) に使うことです。そのための知識を中心とした教材が eALPS 上および起縁上で提供されています。

資料検索の学習

インターネット検索を使えば、とりあえず確認できれば、というレベルのことなら調べられます。ところが大学では、しっかりとした資料に当たって調べること、また、そうした資料を正しくレポートなどに反映させることが常に必要になります。こうした大学での学習に不可欠な図書館の活用も含めた検索方法などを学習する教材が eALPS 上には用意されています。

eALPS の自習利用

eALPS 上の自習教材を利用するには、eALPS にログイン後、共通教育の中の「自ら学習」コースにあなたをコース登録してください。このコースは自主登録利用のみですが、いつでも登録可能になっています。

モジュール教材提供システム「起縁」

信州大学では 2006 年からの全学プロジェクトのもと、モジュール教材という、短時間で学習できる教材群を用意してきており、それが今では 1000 教材近くが提供されるようになりまし

た。その提供システム名を「起縁」としました。本システムの利用を通じて、みなさんに知識の縁、先生方との縁を作ってほしい、という願いを込めました。前記 PREP サイトからもたどれますが、URL は

<http://zen.shinshu-u.ac.jp/>

です。

前頁問題の答え：自主学習教材は一人で始めて構いません。不明の点は、eALPS 上の自主学習コースの担当教員である鈴木までメール連絡ください。コース内から連絡メールを出すことができます。

TOEIC 英語の学習

オンラインの英語学習教材が用意されています

アルク・ネットアカデミーとは

アルク・ネットアカデミーは TOEIC 英語を自身で学習できる英語教材であり、みなさんが、いつでも利用できるよう準備されています。ネットアカデミーを利用した TOEIC の学習ページ

<https://nacademy.shinshu-u.ac.jp/anet2/>

にアクセスして(総合情報センターの)利用者 ID とパスワードでログインしてください。ただちに学習を開始できます。

学習コースには以下の 2 つがあります。先生からの指示、もしくは自身で適当なコースを選択の上、学習を進めてみてください。

初・中級コースプラス

TOEIC に特化し、初・中級 (TOEIC400 点以下) 向け

スーパースタANDARDコース

初級者から上級者 (TOEIC300 点から 800 点) まで幅広いレベルの英語学習一般に対応しています。最初の学習時にレベル診断テスト (試験時間 35 分) を受けます。

学習上の連絡先

学習内容に関しては言語教育センターの教員に問い合わせしてください。また特定授業の一部として学習する場合には、別途登録の必要がある場合もあります。担当の先生の指示に従ってください。

なお学習方法などの問題ではなく、システム上の問題と判断できる場合にはメールアドレス

nacademy-admin@shinshu-u.ac.jp

まで連絡してください。

リスニング室について

端末室でのリスニング学習はヘッドフォン着用の上、学習を進めてください。ヘッドフォン端子はディスプレイにあります。スピーカー利用はしないでください。共通教育窓口では学生証と交換にヘッドフォンの貸出しもなっています。

学習パソコンの環境について

アルク・ネットアカデミーを使用するためには Flash Player というアプリ

学習に役立てる

ケーションが必要です。あなたのパソコンにこのアプリケーションが組み込まれていない場合には、アルク・ネットアカデミーへの最初のアクセス時に、そのインストールを促すメッセージが現れます。この時になって初めて、Flash Player をインストールさえすれば、学習することが可能になります。

Flash Player が使用できれば、学内外 / パソコンの環境を問わず利用できます。

もっと詳しくは

学習支援サイト PREP では、操作手順マニュアルが読めるようになっています。

95%の機能は使わない

「使いこなす」必要はありません

パソコンスクールの宣伝ならば「これであなたは〇〇〇が使いこなせる」というところですが、大学で提供している自習教材は何かを使いこなすためのものではありません。たとえばMS Officeというアプリケーションでは、数千を超える機能があるそうです。もしも本当に、こうしたアプリケーションを使いこなそうとしたら、マスターする頃には新しい版が出て、あなたがせっかく「マスターした」事柄はすでに時代遅れになっているかも知れません。

では、どれだけのことを知っていればいいのでしょうか？ それを一概にいうのは難しいのですが、パソコンやアプリケーションのインストラクターの方々や解説本の著者がいうには、おおよそどの人も、95%の機能は使うことがない、といっているようです。だから「使いこなそう」ではなく、自分にとって必要なところがほどほどに使えればよいと考えてください。

そこで、全学教育機構で提供している教材では、大学での勉学において、ある種のツールを使う際に知ってお

てほしいこと、特定のツールに踏み込みすぎるべきでないことを中心に学習の指針とともに情報提供しています。学習支援サイトPREPではそうした使い方のヒントとなる話題も提供していますので訪ねてみてください。

キーボード入力だけは覚えよう

最初に次の問題を考えてみてください。

問題：キーボード上のキー配列は高速に打つために考えられた。

みなさんの年齢なら2週間おおよそ毎日練習すれば、キーボードを打つ手元を見なくても打てるようになります。そうなれば何を使うときでも必須の文書入力において、やり直し操作がづらくなくなります。端末室にも練習ソフトは用意されていますが、個人用パソコンをもっている人は、そこにも練習ソフトを用意してみてください。インターネット上には多くの無料練習ソフトが見つかりま

学習に役立てる

す。中には従来の英文タイプライタ学習法準拠ではなく、科学的分析にもとづいた「増田式キーボード学習法」(<http://homepage3.nifty.com/keyboard/>)のような練習法もあります。あなたにとって続けやすい方法を見つけて、タイピングを是非とも身につけておきましょう。

ただしゲーム性を強調しすぎた「○打」などのソフトでは、残念ながらキーボードを見ないで打てるようになるための配慮はしていません。

前頁問題の答え：半分「はい」であり半分「いいえ」といえます。英語に出てくるつづりが高速に打ちやすいよう、ある程度データにもとづいて配置されたという点で「はい」が正解です。

その一方で、昔の機械的打鍵方式ではタイピングが高速過ぎると、打鍵機構がからまってしまうため、ある程度以上には高速に打てないようにも配慮したキー配置としたのです。

テレビ／パソコンは要らない？

テレビとパソコンとケータイと

テレビは要らない？

パソコンに地上波デジタル（地デジ）チューナーを接続、あるいは内蔵してあれば、テレビ放送を見ることができます。

また、インターネットの常時接続があれば、インターネット経由でGyaoなどの放送再配信サイトを利用したり、NHKなどのサイトが提供する最新ニュースも見ることができます。

あなたのライフスタイルでテレビは何のために必要なのか、というところでしょう。なお、大学の授業ではテレビ放送を批判的に扱うものがいくつも開講されており、授業の題材として接する機会も増えることでしょう。

ワンセグ携帯とテレビ

日本放送協会（NHK）ではワンセグ放送視聴機能付き携帯電話（ワンセグ携帯）の所有者に対して、それが確認できた場合、受信料の請求をしています。

さて、みなさんの中には大学入学を機に一人暮らしを始めた人も多いと思

いますので、社会生活に関わる法律問題について「誰かがこう言っていた」ではなく、みなさん自身に関わる問題を適切に考える材料に、主な論点を簡単に説明しておきましょう。みなさんが興味をもった理由をもっと詳しく調べてみてください。

先に結論です。この問題は現状ではグレーゾーン、つまり未解決問題です。その内、最高裁判所判例により確定するかも知れませんが。

NHK側の主張：

放送法の定めるところにより、テレビ放送受信機能をもった機器（受信装置）であるワンセグ携帯に関しては、その設置者である所有者に対して受信料請求できる。

法律解釈論議：

放送法の定める「設置」には、移動機器であるワンセグ携帯は当たらないため、支払い義務はない。

プライバシー論議：

テレビ放送受信のために設置されている機器以外のものを調べる権利は、NHKにはない。したがって、どのよ

うな携帯電話をもっているかを調べる権利をNHKはもたない。

憲法的論議：

そもそもNHKに対して受信料徴収権が許されている理由は、NHKがユニバーサルサービス（郵便や電力・水道などの社会インフラの類）の提供者として、その義務であるインフラ整備遂行を担っているからです（放送法の憲法部分）。移動受信装置であるワンセグ携帯に対してはNHKが難視聴対策を行うなどのユニバーサルサービスの対象となり得ないので、放送法の対象にもなり得ません。

パソコンは要らない？

インターネットを閲覧するためならば、iPhoneなどのスマートフォンでも間に合う時代となりました。それでは画面が小さいという人ならば、iPadなどのタブレット端末を使えば、大きな画面でそれを閲覧できます。

こうした機器を使えば、パソコンはなくても間に合うのでしょうか？ 大学生のみなさんには少し不足です。

不足する機能の第一は編集機能です。レポートを書くのにワープロを使うべきだと考える第一の理由は、けっして清書のためではなく、文章作成の

際に推敲がしやすいことにあるからです。つまり編集を何度も何度も繰り返すためのツールがワープロです。そのためには、スマートフォンの画面は小さすぎるでしょう。ではiPadなどのタブレット端末ではどうでしょうか？

タブレット端末の最大の欠点は、文字入力を画面を見ずにはできないことです。編集作業を円滑に行う行うためには、画面を見ないで入力可能なだけ的高速入力を身につけるべきです。文字を見ないで入力できることは、文字入力作業があなたの思考の邪魔をしないことも意味します。それなのに文字入力のためのタッチ操作がそれを害するのです。ではタブレット端末にキーボード（Bluetoothによる無線接続のものがあります）を付ければどうでしょう？ 多くの人にとっては、これで十分かも知れません。

最先端への入り口

早く専門に集中したいかも知れませんが

「教養科目なんかやってないで、早く専門を勉強したい」という意見もよく耳にします。そこで、専門の世界、しかも最先端の学問状況について少しお話ししましょう。たとえば医学生物分野における iPS 細胞の研究、耳にしている人も多いでしょうし、間違いなく最先端の研究でしょう。しかし、みなさんが大学を卒業する頃はどうなっているか？ たぶん難しい基礎的な研究が主流になって、簡単に結果の出そうなところは枯れ尽くしているはずですよ。

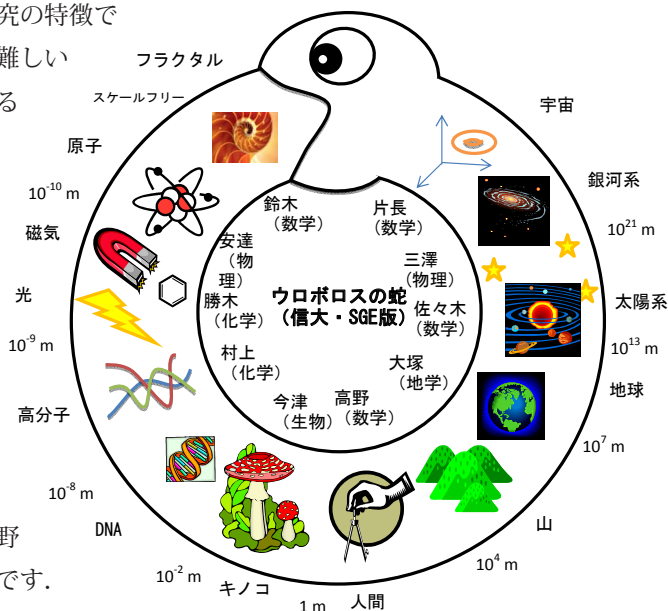
これが現代の最先端研究の特徴です。大学を出る頃には難しい問題ばかりになっているはずなのです。

では最先端研究はどこから生まれてくるのでしょうか？

ほとんどは「一歩斜め上」ぐらいから生まれます。先端研究のまっすぐ先ではないのです。斜め上を進むには、広い視野と確かな基礎力が肝要です。そうした広い視野を知る上で最

適な科目に、全学教育機構の提供する学問横断科目があります。「環境 その人文社会学的アプローチ」、「宇宙から原子への旅」の2つがそうしたものの例です。

下図は「宇宙から原子への旅」に関する概念図（2011年版）です。もっと詳しくは、シラバスや情報サイト PREP を参照ください。



みんなの窓口

困ったときには訪ねてみてください

みなさんがよく出くわす問題について、相談窓口とともに以下にあげておきました。

総合情報センター

全学のネットワーク関連業務、端末室にある端末（ハード、ソフト）の管理・保守、ACSU やメールサービスの運用などを行っています。端末室にある端末の故障やネットワークのトラブルの際にはここに連絡してください。

ホームページ：

<http://www.center.shinshu-u.ac.jp/>

各種問い合わせ先（電話・メール）：
上記ページ参照

共通教育窓口

キャンパス情報システム関連（履修登録、単位確認、休講情報など）、総合情報センターの利用者 ID に関する相談等を行なっています。

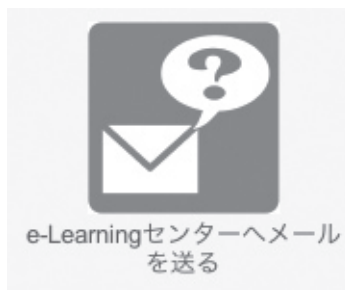
システムの技術的な問い合わせ：内線 2266・2099（学務課学務情報担当）

e-Learning センター

全学 e-Learning (eALPS2.0) および信州高等教育コンソーシアム遠隔授業システム (eChes) に関するサポート業務を行っています。

場所：全学教育機構南棟 2 階

問い合わせ先：ACSU にログインすると現れる「eALPS2.0 ヘルプ」内から問い合わせメールが出せるようになっています（下図参照）。



ピアサポート室

全学教育機構におけるネットワークやパソコンの一般的な利用相談、トラブル相談など、主に学生向けのサポートを（アルバイトの学生が主体となって）無料で行っています。サポート時間はお昼休み（12:10～13:00）です。どこに相談に行けばよいのかわからな

い場合など、ここにすれば案内してもらえます。また、コンピュータやネットワーク技術に興味のある学生は、ここに来れば(授業等ではあまり取り上げられないようなことでも)いろいろと学べるかもしれません。

場所：全学教育機構北棟 1 階・東奥

生協購買部

生協で購入したパソコンや周辺機器に関するサポート、プロバイダの紹介などを行っています。また生協以外で購入したパソコンに関しても相談に乗ってもらえます。ただし、これらのサポートは有料になる場合もありますので、サポート料金についてまず担当職員に相談することをお勧めします(サポート料金や技術料そのものについての相談は原則無料です)。

ホームページ：

<http://www.shinshu-univcoop.com/seikyo/>

問い合わせ先：0263-37-2982

よくある質問 / 相談

困ったときに活用してください

QeALPS を使った学習の仕方がわからない

Ae-Learning センター(南棟2階)まで連絡ください。

Qパスワードがわかりません / ス
ワードを忘れてしまいました

A身分を証明できるもの(学生証
など)を持参して共通教育窓口
まで来てください。

Qログインがうまく行かない / 大
学内でインターネットにつな
がらない

A ACSU へのログインができて
いるか確認してください。(大学
内で個人の PC をインターネットに接
続するには、ACSU へのログインが必
要です。)

Q ACSU のページも表示できない

A無線 LAN の設定を確認して
ください。Windows の場合の確
認方法は次のようにしたほうが確実で
す。Windows メニュー>すべてのプ
ログラム>アクセサリ>コマンドプロ

ンプトを起動して、ipconfig と入力し
てください。ワイヤレスネットワーク
接続の IPv4 アドレスが 192.168. で
始まっている必要があります。

Q無線 LAN には接続できている
が、ACSU のページが表示でき
ない

Aセキュリティソフト等のファイ
アウォールの設定を確認して
ください。

Q大学内でメールが送信 / 受信で
きない

Aインターネットに接続できてい
るか確認してください。接続が
できているなら、Web メールで間に
合いませんか? パソコンに詳しい人
なら、パソコン上のメールソフトを使
うのもよいでしょう。そのソフトの設
定を確認してください。(設定の方法
は総合情報センターのページを参照し
てください。)

Q Word2007（Word2010）で作成したレポートをメールで提出したところ、先生に「開けない」といわれました。どうすればいいですか。

A Word2007（Word2010）の文書は、Word2003 以前のバージョンでは開けません。Word に限らずアプリケーションは、いろいろなファイル形式で保存することができます。提出するファイル形式について、担当教員に確認してからレポートを出しましょう。

ヘルプの心得

相談先が解決しやすい質問をできるようになろう

学生相談室に行くような心身の問
題と違って、機器に関するトラ
ブルは、

- * 再現性がある
- * 相手に関係なく同じメッセージを
表示する

という特徴があります。(だから詐欺
サイトや占いサイト、あるいは勧誘
メールがあなた相手にメッセージを
語っているようでも、実はメッセージ
を読むあなたの錯覚です。)

ですので、逆に(再現性があるはず
の)操作や(繰り返し同じ表示をする
はずの)メッセージを正確に記録し、
それを伝えれば、あなたが持ち込んだ
相談について、それが解決される可能
性は高くなり、解決にいたる時間も短
くなると期待できます。

そして質問するときのこうした準備
の習慣は、社会生活においても、あな
たの能力や価値をおおいに高めてくれ
ることでしょう。

問題：ヘルプサポートの人は何でも知っているのだから、やったことのメモがなくても助けてくれる。

助けるのが難しい質問

「何か変な... 助けてください」

何か困っていると伝えたい、そういう
気持ちはわかります。しかし、あなた
が見たことが異状であると確実に判断
できるだけの知識を、あなたはもって
いますか？ 困ったことに初心者の人
ほどこうした質問をすることが多く、
相談を受けた人も何もしてあげられな
いことが多いのです。それはあなたが
操作したことの正常な帰結かも知れな
いのです。

相談にこないでください、といってい
るのではないので安心ください。あ
なたを助けたいと思っている相談者を
がっかりさせることが明らかなことな
るべく避けよう、といっているので
す。なるべく正確な記録があつてこそ、
相談者もいっしょに解決に向かうこと
ができるのです。

もちろん「火を噴く、焦げ臭い」等、
情報機器でなくても異常な事態に対し
ては、防災の問題として速やかに関係
箇所連絡してください。

ピアサポート室は救急箱？

「転ばぬ先の杖」ということわざがあります。パソコンで本当にたいへんな目に会う人の大半は、パソコンの普通の状態とそうでないときの状態の区別がつかないために、悪化の兆候を見逃していることが多いものです。

だからといって、何が異状かを簡単につかむことも、なかなか難しいことです。そこで、ピアサポート室への頼り方の一つとして「何となくこんなことができたらいいな？」という、あなたの話をしに尋ねてみてはどうでしょう？

あなたのパソコンへの経験値があがることを通じて、あなたのパソコンの健康状態も管理しやすくなるというものです。

前頁問題の答え：何もメモして行かなくても助ける努力はしてくれませんが、解決は期待しないでください。あなたの頭の中までは覗けないものですから。

教室番号クイズ

入学直後、教室がどこにあるかはわかりにくいもの

入学直後のみなさんが最初に戸惑うことの一つは「この授業の教室はどこだろう？」でしょう。全学教育機構の各教室は「32 番講義室」のように、基本的に番号で表されています。以下のクイズを考えることで、教室番号の謎を解き明かしてみてください。

(北棟と南棟)

問題：2 桁の番号の教室と 3 桁の番号の教室の違いはどこにあるでしょうか？

問題：末尾 1 桁が「1」の教室は北棟と南棟のどちらにあるでしょうか？ また、それは東寄りと西寄りのどちらにあるでしょうか？

問題：教室番号の最上位桁と、その教室が建物の何階にあるかの関係を説明してください。

問題：末尾 1 桁が最大の教室はそれぞれ北棟と南棟のどちらにあるでしょうか？

問題：40 番講義室以外の末尾 0 の教室はどこにあるでしょうか？

(第 2 講義棟)

問題：3 桁の番号の教室は第 2 講義棟にはあるでしょうか？

問題：教室番号の最上位桁と、その教室が建物の何階にあるかの関係を説明してください。

問題：あなたが授業を受ける教室の中で、机に電源コンセントが付いている教室を調べてみましょう。